広報 かじき

No.245
昭和50年 11

発行／加治木町役場・編集／総務課文書係

天高くみのりの秋　収穫に余念のない農家の人々

■メモ　人口／20,404　男／9,574　女／10,830　世帯／6,636　（50年10月1日現在）

＝9月町議会＝

障害者医療費助成など改正

一般会計補正予算 五千百二十三万九千円を追加

町教育委員に岩崎昭夫氏を任命

定例第三回の町議会は、九月三十日から十月九日までの十日間を会期として開かれ、五十年度一般会計および特別会計の補正予算や町条例の制定、改正など十一議案を原案どおり可決しました。

そのほか、請願二件うち一件を採択、諮問一件を同意、陳情二件を継続審査としました。

今回の一般会計補正予算は、五千百二十三万九千円が追加され、予算総額は十四億七千三百三十万五千円となりました。

条例関係では「加治木町重度心身障害者医療費助成条例の一部改正」などが決まりました。

また町の教育委員会の委員に、岩崎昭夫さん（本町）の任命が、同意されました。

おもなものは次のとおりです。

条例関係

加治木町の重度心身障害者医療費助成を一部改正

対象者が次のように変わりました。

①本町の区域内に住所を有する、重度心身障害者で、社会福祉施設に収容されている者。

②本町の区域内から他の市町村の区域内に住所を移した者でも、本町の区域内に住所を有するものとみなす。ただし保護者も他の市町村の区域内へ住所を移したときは対象外となる。

③生活保護を受けていないもの。

④老人医療費を受けられないもの

⑤町の乳幼児医療助成の対象以外の乳幼児。

岩崎さんを町教育委員会の教育委員に任命（再任）

任期満了に伴う町教育委員会委員に、江湖の岩崎昭夫さん（四八）医師＝が任命されました。

姶良地区に視聴覚教育協議会を設置

姶良地区における視聴覚教育の振興をはかるため、視聴覚ライブラリーに関する事務管理を共同（一市十二町）で実施する、協議会の設置が決まりました。

人権擁護委員に宮城俊治氏を

県内の人権擁護委員が増員されたため、その内一人を町内から推せんすることになり港町の宮城俊治さん（六〇）＝が推せんされました

予算関係

老人医療などの扶助費を追加

五十年度の、一般会計・補正予算は、七十歳以上（寝たきりは六十歳以上）の自己負担分の医療費など五千百二十三万九千円が予算追加されました。

おもなものは次のとおりです。

老人医療費九百三万五千円（扶助費ほか）▽児童措置費二百七十二万円（被用者児童手当ほか）▽一般失業対策事業費七百九十九万一千円（ダンプトラックなど）▽魚礁設置事業費四百二十万円（工事請負費ほか）▽公園費六百十二万二千円（高岡公園工事費など）▽非常備消防費四百三十八万九千円（防災行政無線委託料ほか）。

請願・採択

町福祉協議会長、東国雄＝市町村社会福祉協議会の法制化ならびに拡充強化についての請願を採択。

『加治木名物』クモ合戦 16ミリ記録映画できる

加治木名物クモ合戦は例年六月の第一日曜日に行われておりますが今年はこのクモ合戦を一つの記録映画にしようと、東京から東京福良フイルム社と東京岩波書房映画部が加治木をおとずれ一週間にわたりフイルムにおさめました。

このほど岩波映画部よりクモ合戦の記録フイルム、題して「生きものばんざい、薩摩のクモ合戦」が届き九月二日町福祉センターで試写会を開きました。

クモ合戦の前日までの、クモ取りから飼育、合戦が終ってクモをもとの自然にかえすまでを約三〇分の上映時間として製作されています。

町と町観光協会では、このフイルムを購入することになり今後は社会教育の一つとして、町民皆さまのお役にたてたいとはりきっております。

このほか町には、NHKテレビで放映された「新日本紀行」で撮影されたクモ合戦のフイルムもあります。グループや子供会などおおいにご利用していただきたいものです。

クモ合戦試写を見る子供たち

第27回町民体育祭

城北が初優勝

＝総合で城西地区が躍進賞＝

子どもから母親へバトンタッチ（親子リレー）

秋空の下、快晴に恵まれた第二十七回町民体育祭は、十月十日「体育の日」に町総合グラウンドで盛大に行われ、城北地区が十五点を獲得、昨年優勝の錦江第一地区を見ごとおさえて、初優勝の栄に輝きました。二位は錦江第一地区三位永原地区。

たんぼは稲穂が黄色くいろづき刈取りを待つかのように、秋風にゆれている中を、朝早くからグラウンドへと車が行き交う。

ことしは二回目の町営グラウンド使用とあってまようことなく、午前九時の開会までには、ほとんどの人が集まり、各地区のテント内はいっぱい。

年々さかんになってくるスポーツ熱、選手をはじめ各役員の努力により、競技の進行もスムースに進み、気持ちのよい体育祭が行われました。

プログラム第一回、町内保育所の遊戯で開かれた二十七回体育祭は、回を重ねるごとに競技に熱がはいり、どのテント内も体をのりだしての応援、大会を盛りあげた。

この盛りあがったところで今年の体育祭出場で連続二十一回出場した上木田の瀬戸口悟さん(四一)が表彰を受けみんなの拍手をうけた。

また、ジャンケンポン大会は、皆んなでする競技とあって、回を重ねるごとに、老若、男女参加する人が増え、一千人近い参加者でにぎわいました。

負けた瞬間、くやしがる人、勝った人が次の相手をさがして、とびあがって喜ぶさまなど、なごやかなうちに十回目で、みろくの栫千恵美さん（錦江小四年）が勝ち進み、町民体育祭ジャンケンポンのチャンピオンとなり、会場の拍手に送られ大会会長から賞状と賞品が贈られました。

八回まで勝ち進んできた、あるおじいさんは「ことしゃ一番になっ見すっで、とはりきってでつみたがやっぱい負けもした。じゃっどん、今年も町民体育祭に参加したけん、こいでよか」と満足そうに話していました。

今回新しく登場した親子四〇〇メートルリレーは、たくさんの参加があり、バトンを通じて親と子のきづなが連絡よくとられ、なかなか見どころのある競技だった。

子どもが一番で走ってくれば、母親がぬかれる、また父親がぬくそのたびに歓声がわく、ゴールになるとかねての運動不足が出てころぶお父さん、それを助ける子ども、ほんとうに家族の意気のあった競技で、これに参加された家族は、よい思い出の体育祭だったことでしょう。

こうしてにぎやかに開かれた二十七回町民体育祭は、大きな事故もなく無事に終了しました。

各地区の選手の皆さん、この大会のために陰の力となってかけ回り、気苦労された地区の関係役員の皆さん、それに大会役員のかたがた大変ご苦労さまでした。

町民体育祭に連続21回出場し体育の向上に寄与した。また県体にも数回出場する。
表彰を受ける瀬戸口悟さん

体育祭の成績（○内前年の成績）

優勝　城　北　一五点　③
二位　錦江第一　一二点　①
三位　永　原　一〇点　②
四位　城　西　八点　⑦
五位　城　東　六点　⑥
六位　竜　門　五点　⑤
七位　錦江第三　四点　⑧
八位　錦江第二　二点　⑨
九位　城　南　〇点　④

五十年度社会体育年間の総合成績

城北が連続優勝

町民体育祭を最後に、これまで行われた各種の社会体育の五十年度総合成績は、次のとおりです。（○内は前年度の成績）

優勝　城　北　八四点　①
二位　城　西　六二点　⑦
三位　錦江第一　六〇点　②
四位　城　東　五七点　④
五位　永　原　五四点　③
六位　竜　門　五三点　⑤
七位　錦江第三　四九点　⑧
八位　錦江第二　三一点　⑨
九位　城　南　九点　⑥

二位の城西地区は、前年度七位からぐうっと上がって二位になったので、その努力に対して躍進賞が贈られました。

11月15日 狩猟解禁

マナーを守って 事故をなくそう

十一月十五日から、ハンター待望の狩猟が解禁となり、来年二月十五日まで、野や山で楽しい狩猟が行われます。

ところで、最近県内のハンターは年々増加して、昨年の狩猟期には一万五千人に達しました。ハンターの増加に伴い、事故も年々増え、昨年は九人の重軽傷者を出しました。

事故のほとんどは、ハンターが銃の取り扱いの基本的な注意をおこたったことによるものです。

銃の取り扱いには特に次の点に注意し、取り返しのつかない事故を起さないよう十分気をつけましょう。

▽…事前に、法令や銃の取り扱いについて習熟しておくこと。

▽…銃を手にするときは、まず、たまがこめられていないことを確かめること。発射が必要となるまでは絶対にたまをこめないこと。たまをこめたら必ず安全装置をかけ、発射の直前まで、はずさないこと。

▽…銃口は絶対人に向けないこと

▽…銃を持っているときは、落したり、ころんだりしないよう注意し、発射するとき以外は引きがねに指をふれないこと。

▽…発射するときは、周囲の安全に注意し、獲物であることをよく確かめてからにすること。

▽…銃を手から離すときや銃の手入れをするときは、たまがこめてないことを必ず確かめること

▽…見通しの悪い、やぶや雑木林たまがはねかえるおそれのある岩などに向けて発射しないこと

▽…銃の調子が少しでも悪いときは発射しないこと。

▽…他人の銃にみだりに手をふれたり、酒を飲んでから銃を手にしないこと。

猟銃と火薬の保管

猟銃の盗難などによる事故を防

秋の全国火災予防運動
11月26日⇔12月2日

幸せを明日につなぐ火の始末

糖尿病と対策

規則正しい生活と 適切な食生活が必要

糖尿病は、文明病の一つといわれ、近年ますます増加しており、日本では四十歳以上の人の百人に四人が、この病気にかかっているといわれます。

この病気は、従来食事がぜいたくな中年の人に多い病気とされてぐため、銃とたまは別々に、カギのかかる堅固な保管庫へ厳重に保管します。

火薬類は、使うだけをその都度購入し、狩猟期間の終りには火薬類が手元に残らないような計画的購入をする。保管は銃と別個の保管庫に保管します。

今年から狩猟規則が改正

狩猟期間や狩猟鳥獣の種類などが改正されました。

また初心者は、県公安委員会の指定する方法で標的射撃訓練をした人でないと、狩猟免許は交付されません。

猟友会や最寄りの警察とよく連絡をとり、ハンターのマナーを守って、今年こそは事故のない楽しい狩猟をしたいものです。

いましたが、最近では、低所得者や若い人の発病も増えています。

正常な人であってもそのうちの二〇%は、糖尿病にかかりやすい素質を持っているとさえ言われています。

糖尿病は、早期に発見し、適切な健康管理をすれば、健康な人と同じ生活ができ、同じ寿命を保つこともできます。しかし、糖尿病にかかっていることに気付かなかったり、知っていても治療をしないでいると、活動能力が減退し、脳卒中、心臓病、じん臓病などを併発して、早死にすることになります。

糖尿病についての正しい知識を持ち、病気の予防や早期発見、正しい治療を心がけましょう。

■予　防

糖尿病にかかりやすい体質の人が、毎日の生活の中で、食べすぎ飲みすぎや運動不足になったり、太りすぎになったりすると容易に発病します。けが、手術、心の疲れも発病のきっかけとなります。

このため、日頃からこのような発病のきっかけをつくらない生活を心がけることが大切です。とくに、血族に糖尿病の患者がいる人太りやすい人、女性で四キログラム以上の赤ちゃんを生んだことのある人、死産を繰り返している人は糖尿病にかかりやすい体質である場合が多いので、気をつけてください。

■早期発見

糖尿病の初期は、ほとんど自覚症状はありません。少し進むと、のどがかわく、疲れやすいなどの症状が現われますが、これらは普通の生活状態でも起り得る軽い症状なので、見逃してしまうおそれがあります。

特に中年以上の人や、糖尿病にかかりやすい体質と考えられる人は、年一・二回は尿の検査を受けるほか、定期健康診断を受けて早期発見に努めてください。完全に治すことは、なかなかむずかしい病気ですが、できるだけ早いうちに発見することによって、それだけあとの生活も健康な人に近い食事や仕事を続けることができます

■糖尿病患者の健康管理

糖尿病患者の健康管理は、しろうと療法をやめ、定期的に医師の検査を受け、確かな診断と指示に従って行います。

食事や休養、運動を適量に保ち生活を規則正しくして精神の安定をはかります。病気が重い場合は薬を用いる必要もあります。

このように、規則正しい生活や適切な食生活が必要とされる糖尿病患者の健康管理には、本人の強い意志と家族の深い理解と協力を欠かすことはできません。

話題あれこれ

昭和五十年度九州地区民族芸能大会に出演

第十七回九州地区民俗芸能大会は、十月五日佐賀県の武雄市で開かれ、九州各県から九つの芸能が参加、盛大に行われた。

鹿児島県から加治木町西別府の文化財指定、吉左右踊・太鼓踊が出演、勇壮なおどりを披露しました。この出演に対して、民俗芸能大会委員長および文化庁長官から感謝状をいただき大観衆の拍手をうけました。

おめでとうございます。

学校図書を整本　読書の秋に奉仕

錦江小家庭教育学級（学級生四十人）は、十月二十四日学校図書の整本をかねて学習しました。

同小学校の図書室は、子どもたちがたくさんの本を読もうと、図書の貸出しは毎日大繁盛のありさまです。とくによく読まれる本はいたみもひどくなり図書室の片隅にねむっています。それを見かねた学級生は、この秋、読書の季節にちなんで学校図書の整本をしようと、数十冊の本を修理した。表紙や背表紙のとれたもの、やぶれているもの、これらを一つ一つていねいに修理し立派な一冊の本に整本した。この修理された本が一冊でも多くの子どもに読まれることは、ほんとうにうれしいですと修理に一生懸命。ごくろうさま。

県の準優良児童に　柁城小の湊さん

町内柁城小学校の湊　裕子さん（六年生）は、このほど開かれた昭和五十年度全日本健康優良児童（朝日新聞社主催）の鹿児島県直接審査会で、準優良児童に選ばれ表彰をうけました。

湊さんは、県内の各市町村から選ばれた七人の内から厳正な審査の結果、惜しくも準優良児童となったものです。知能、運動能力、身体、学習記録などが審査の対象となっています。

柁城小学校では、三年前の四十七年度にも準特選児童をだしており、こんども準優良児童がでたことで、全校児童は大変喜んでいます。身長一五五、体重七四、胸囲八一。よく学び、よく走り、よく食べる、特にくだものは大好き。

身障を克服新聞切り抜き　二年分を図書館に寄贈

からだの不自由な重度の身障にもまけず、家族や家庭奉仕員（鶴フキさん）の手助けで、自分のまわりにおこる情景を俳句に読み、小説を書いている辺川鶴原の田代俊一さん（三八）がこのほど福祉課を通じて町の図書館に八冊の新聞切り抜き帖（スクラップ・ブック）を贈り関係者を関心させました。

俊一さんは、幼いころ脳性小児マヒにかかり、手足もかなわず言葉も満足に話せない。今では車いすにかけるのがやっと、しかし小さいころから本や新聞などを読むことがすきで、四十八年から切りぬきをはじめ、このほど二年分（四十八、四十九年）を贈ったもの

内容は文化や文学、心理、医学などに分類されており十一月に行われる町の美術展に展示されます。

ウナギの稚漁放流　網掛川の三か所に

加治木町網掛川漁協（西行教組合長）は、このほど網掛川にウナギの稚漁十キロ（四千匹）を放流した。同漁協では例年五月ごろ放流していたが、今年は稚漁の不足でおくれ季節はずれの放流となったもの

大隅方面から運ばれてきた稚漁は十五センチほどもあり、バケツからとびだすほどの元気さで、小山田西別府など三か所に放流された。

一年後は親指大に成長、釣人を楽しませることでしょう。また同漁協は、ウナギとは別に、稚アユをとって広島県や県内へ出荷しているが、仮設の蓄養池しかなく、大量の注文に応じきれなかった。

こんど百万円を投じて新しく直径六メートルの蓄養池を完成、一度に四百キロも収容でき要望に応じられると、漁協では鼻たかだかというところ、一同はりきっております。

町連合婦人会
十月の行事から
（婦人会だより）

■九婦連大会

第二十七回九州地区、地域婦人大会が九月三十日、十月一日の二日間、県文化センターその他の会場で開かれました。

「国際婦人年にあたり、社会参加の実をあげよう」のテーマをかかげ、九州全県の婦人会代表者、一千六百人が集まり、地域婦人会として何をなすべきかを討議しました。

分科会、全体会と熱のこもった話し合いの結果、次のような申し合わせ事項と要望事項が決まりました。

申し合わせ事項

○冠婚葬祭の簡素化を強力に推進し、生活のムダをなくしましょう

○くらしを見通し、身近な食品の手作り運動をすすめよう。

○母乳を飲ませる運動をすすめよう。

○子どもたちに「ふるさとの民話」や「地域の伝承文化」を伝えることにつとめよう。

○婦人がより積極的な社会参加をすすめるために、家族や地域社会の理解と協力をもとめることにつとめよう。

○ボランティア活動を積極的にすすめ、婦人の特性や特技を社会のために役立てよう。

○家庭における父親の立場を確立するために、母親は子どもにもっと父親の生き方を話してやろう。

要望事項

▽保育所、幼稚園等の整備充実に努力されたい。

▽避妊器具の自動販売機の設立に適切な措置を講じられたい。

▽低俗なテレビ放送番組や有害図書の規正を厳重にされたい。

▽婦人の地位の向上をはかるために、政府に国際婦人年国内委員会を設置されたい。

■生活学校

十五日第一回の対話集会を開きました。テーマは「即席カレー」専門のメンバーに商工会副会長、指導員にエビスヤ食品部長、並びに保健所専門員のみなさまのご出席をいただき、次のような話し合いをしました。

○即席カレーについて＝日付、添加物などの表示をよく気をつけて買うこと。

○メーカーに対して、もっと小人数用の商品を作って欲しい。

○消費者の私たちも、もっと勉強をしましょう。

次回のテーマは「正油と味噌」を強くひかれました。

地元に住んでいながら、まだ私たちの知らないことがたくさんあることに気づきました。もう一度このような会をもちたいものと、学級生一同、話し合ったことでした。

汰木先生ほんとうにありがとうございました。

■ふるさと学級（史跡めぐり）

二十二日、汰木清彦先生にご指導をいただきながら、町内の史跡を尋ねてみました。

郷土館の前にそびえる、くすの木＝神代のむかし、ここに流れついた舟のかじから芽をふき、現在の加治木の名前となった。その由来をききながら島津やかた跡へ、ひっそりと静まりかえっている木立の中で、歴代の島津氏に思いをはせる私たちでした。

新道通りを横ぎり、吉原を抜けて精矛神社までの道すがら、いたるところに歴史のあとがあり、そのなかでも田の神像に心のなごむひとときもあれば、九州一と伝えられる一対の大石塔のなぞに、心

カマ・バインダーと稲刈りも機械化されてきた、今年はまた新しい便利な機械が町内にお目見えしました。刈って、落として袋づめまでするコンバイン。

■町民体育祭

十日に行われた体育祭に婦人会もマスゲームに出場しました。

みなさんごくろうさまでした。

たばこは町内のお店で買いましょう

来年もどうぞよろしくおねがいします。

夕鵙や野良着の母の帰り来る　田代　俊一

名月に飲めぬ焼酎命じけり　奥原　圭児

芋の葉や光芒宿す雨後の月　宮原　思川

廊下にも小蟹出て這ふ島の宿　横山　江南

在りし日の母の声ふと秋風に　恒吉　斗南

身障にめげぬ佳話あり爽かに　井之上透山

天皇卒直にアメリカに詫びる秋の暮　曽木　柳田

子蜥蜴の壁に張りつく残暑かな　松永　愛子

胃の痛み目覚めて寒し今朝の秋　塩満　篤夫

秋に入る雨こそかかれ隼人塚　鶴田　耕

赤い羽根胸豊なり街に満つ　伊丹　司朧

足なえの君こそ親し秋桜　渡辺　水鶏

月光やただ一片のちぎれ雲　中山　待香

不自由な身体でも やればできるんだ

＝筋ジスの子供たちの運動会＝

自分のだせる力を精いっぱいだして、かぼそい足をふんばり、車イスを器用に使い風船をけり、ボールを送るなどする。訓練をかねた運動会が十月十二日、錦江小体育館で行われた。

この運動会は、町内須崎にある南九州病院筋ジストロフィーと、たたかう県立指宿養護学校加治木分校小・中の子供たち五十二人が県内や県外から駆けつけた、お父さん、お母さんたちといっしょになってゲームを楽しみました。

風船わり、リレー、綱引きなど子どもたちの力のはいった競技に会場はわれんばかりの応援。クギのある大きな箱に風船をけりつけて割るゲームに、なかなか割れないが子どもたちはいっしょうけんめい割ろうとける姿を、手をかさずじっと見つめる職員。やっと自分の力で割れると、いっせいに大きな拍手と歓声がなる、子どもたちは満足そうにゴールへかえる。

「ほんとうに子どもたちが一生懸命、不自由な手足をうごかして頑張る姿を見て涙が出そうです」と会場のにぎやかさにつられて見にきた、あるご婦人は話していました。

お昼の弁当の時間は、久しぶりに我が子と食事をする親子が、ほほえましく感じられた。

町の婦人会の踊りグループ十五人と役場の青年婦人部も、病気と戦っている子どもたちの運動会にはげましの踊りとゆうぎを披露、昼のひとときに花をそえました。

親元をはなれて、遠く一人で療養をつづけている子どもたちにとっては、この日が一番楽しい日であったと思う。

これからも病気に負けないよう頑張ってもらいたいものです。

車イスでリレーする子供たち

国民健康保険だより

五十年度国保会計 大幅な赤字が予想

昭和五十年度も半ばを過ぎましたが、国民健康保険会計は非常に苦しく大幅な赤字が予想されます。

年度初めの見込みでは医療費が月に二千百万円で年間二億五千二百万円を見込んでいました

四月から予想を大きく上回り月二千四百万円前後の医療費を実際に支払っている状態です。このままいきますと年間二億八千八百万円が必要になり、当初の計画より三千万円が不足し、国からの補助があっても約一千万円が不足することになります

また十一月からは医療費の値上げが、うわさされております。そうなるとなおいっそうの国民健康保険会計の赤字は大きくなるばかりです。

医療費の支出額は県の平均を上回る

ここで医療費を加治木町と県の平均とを比較してみると、次のようになります。

昭和五十年六月鹿児島県の診療等から見た場合、病院にかかった人は県平均で一〇〇人に対し四一・七一人。町の場合は四二・四一人と県平均を一・六パーセントとわずかに上回っています。また、一件の病気に対する医療費は県平均が八千八百円。町は九千八百五十一円で十一・九パーセントも高くなっております。一人分の医療費は県平均三千六百七十二円。町は四千百七十八円と十三・八パーセント高く、昭和四十八年度発足した老人医療の無料化で医療費はなお増大しています。

早目に発見 早目に治療

病気一件の医療費は、県平均より高くなっております。これはどこに原因があると思いますか……

おそらく病気が重くなってから病院にかかっているのではないかと思われます。「病気は早く発見し、早く治療する」のが理想であり、医療費の節約にもなります。

町では六十五歳以上の老人について、毎年一回健康診断を実施しており関係者には通知を差し上げています。

ことしも十一月三十日まで無料で健康診査を行っています。是非受けられるようおすすめします。

町でも皆様方の健康管理のためいつでも健康相談に応じられるよう保健婦二人が福祉課におります

五十一年度保険税の引上げは必至

国民健康保険税は、四十九年度五十年度と大幅に引き上げられたが、このまま行きますと五十一年度も引き上げなければならない状態にあります。

医療費等の節約のためにも、みなさま方の健康管理には十分注意し、いっそうのご協力をお願いいたします。

息子さんの社会保険へ加入のおすすめ

六十歳以上で無職の方、所得の少ない方は、会社等に勤務されている息子さんの社会保険に扶養家族として加入することができます

また県外に息子さんがいる場合も、同じです。

社会保険の場合は家族が何人いても保険料は変らず、県外の場合は「遠隔地保険証」を別につくって、こちらで使うことができます

息子さんの扶養家族になれば、扶養手当をもらうことができます。また所得税や扶養控除もうけられ所得税も安くなります。

一度折を見て息子さんに加入方を話して見ましょう。

ゆっくり走ろう「安全速度を守る運動」

≪11月1日～12月31日≫

「ゆっくり走ろう南国鹿児島」
「ゆっくり走ろう今日も安全」

十一月一日から十二月三十一日までの二か月間、県下いっせいに「安全速度を守る運動」が実施されます。

この運動は、依然としてスピードの出しすぎによる事故が多いことから、交通事故、とくに死亡事故を防止するために行なわれるものです。

ゆっくり安全なスピードで走ることによって事故防止を図り、沿道の住民や歩行者、自転車利用者たちに与えている自動車の脅威、騒音、振動、排気ガスなどの交通公害を軽減する――ことなどが運動のねらいとされています。

自動車や二輪車を運転する人はおたがいに無駄なスピードを出さないように、ゆっくり安全な、スピードで走りましょう。

〝急ぐほど　減らす燃料
増す危険〟

香典返しを寄付

香典お返しのかわりにご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。

＝町社会福祉協議会へ＝

三万円　港町　渡辺フクエ（夫善治）
二万円　隼人町　藤野　ヨシ（夫英蔵）
一万円　見帰　小川　ミカ（夫武雄）
一万円　石野　藤野　茂（母チヨマツ）
一万円　蔵王団地中吉シゲ子（夫久清）
一万円　辺川下　大園　ツマ（夫哲夫）
三万円　桃木野　桃木野ヨネ（夫龍吉）
一万円　毛上　薗田　豊吉（妻イト）
一万円　弓削　大野　ヒデ（夫矢次郎）
一万円　垂ノ口　瀬戸　ミセ（夫秀雄）
一万円　宮田ケ平　坂元政夫（妻百合子）
一万円　諏訪町　山崎　義昭（母サ子）

＝町育英奨学資金へ＝

二万円　港町　渡辺フクエ（夫善治）

一般特志寄付

＝町社会福祉協議会へ＝

三千円　本町　酒匂　久輝
一万円　桃木野　後藤　和子
一万円　須崎　大串　敏之
四八七九円　加治木高校　家庭研究部
四一五三円　匿名

＝ヤミ米追放＝ お米の購入は登録店で

米の消費者価格も改定され、新米の出回る時期となりました。お米は私たちの主食です。それだけに品質はもちろん、まず衛生的なものでなければなりません。そのためにはあらゆる機関の検査を受けた衛生的で安全で質・量にすぐれた登録米を食べることがだいじです。

最近町内で、資格をもたない店で、法違反の販売行為が行われているようです。このことから無登録で販売している商店、業者等については、これらをチェックし、行政指導をするとともに、なおも違反する場合は、きびしい行政当局の指導により、徹底的にヤミ米販売業者の取り締りを行います。

消費者の皆さん、精米の長期保有は品質の低下を生じますので、お米の買いだめはやめましょう。家族の健康を守るためにも、衛生的で清潔な正しい量の政府米を正規の登録店で購入いたしましょう。

町内の米穀販売登録店は次のとおりです。

▽今田商店（新富町②二五二三）▽榎薗商店（御狩山②一七一八）▽木場商店（岩原西③二九一一）▽瀬戸山配給店（錦江町③四一二〇）▽橋口米屋（錦江町②二七一七）▽池田善商店（永原②二五三四）▽三幸商会（本町②二五二四）▽岡山米店（錦江町②二一七五）▽岩田商店（朝日町②二三三五）▽村田商店（朝日町②二二一六）▽池田す商店（東岩原②二〇五八）▽法元商店（田中②二三一三）▽今薗商店（垂之口②二五四三）▽片平商店（仮屋町②二三九一）

今月の納期　保険税（第四期分）

税を知る週間

十一月十一日から十七日までの一週間は「税を知る週間」です。

この期間は、みなさんに税のことをよく知っていただこうと、全国の国税局や税務署でいろいろな行事が催されます。

この機会に、税金の仕組みやはたらき、あるいは税金の使いみちなどについて、じっくり考えていただきたいものです。

みなさまの積極的な意見や要望をお待ちします。

加治木税務署では、次の行事が行われます。

十一月十三日納税表彰式（加治木税務署会議室）十一月十四日税法説明会（ホテル山藤）十一月十七日税法説明会（加治木町商工会）

詳しいことは、加治木税務署へおたずねください。

十一月の在宅医

2日　大川医院　②二〇三二
3日　上妻医院　②二四二一
9日　平山医院　②二四六八
16日　壱岐医院　②二二二二
23日　玉利病院　②二三二八
24日　池田医院　②二二二〇
30日　岩崎昭医院②二三二五

▽…診療時間は午前九時から午後五時までが原則です。
▽…当日の往診ならびに緊急以外の受診はご遠慮ください